

試験直前  
最終チェック

30分で  
要点整理

試験直前

CHECK

1級建築士学科試験 直前総点検

建築士  
直前  
総点検  
学科  
本試験



本冊子の解説動画をYouTube配信!  
7/23@19:00~

1級建築士  
合格までの

# 3つのSTEPを確認!

試験開始直前の今、30分で要点整理!

1級建築士試験は、学科合格発表日から設計製図試験日まで、わずか4週間程しかありません。そのため、合格発表を待たずいち早く設計製図試験対策を開始するのが『合格』のカギです。このページでは、今日から取り組むべき『合格』へのステップをご紹介します。

STEP

1

試験の**要点50項目**を直前チェック!  
出題頻度の高い項目を確実に押さえておきましょう。

詳細は

P.4-11へ

さらに

「**解答速報**」と「**即日WEB採点サービス**」で  
本日中に結果を確認できます。



⚠ 学科試験は途中退席せず、試験問題を必ず持ち帰りましょう!

本日

7/28日

1級建築士  
学科試験

7/29月

8月

8/4日

8/11日

STEP

2

**合格対策説明会**で設計製図本試験へ  
向けての疑問や不安をゼロに!

詳細は

P.12-13へ

参加費  
無料!

&

希望者全員  
プレゼント付

さらに

**受験準備講義** でストレート合格への一歩を踏み出そう!

参加費無料!

日程

設計製図対策説明会

7月29日(月)より開催

≡  
受験準備講義

8月4日(日)より開催



日建学院の講師が、  
設計製図試験に向け  
ての疑問点や不安に  
お答えします。ぜひ  
ご利用ください。

STEP

3

8月11日(日)開講!

設計製図本科コースで合格を目指す!

日建学院がお届けする設計製図試験対策講座です。  
「演習講義」「特訓講義」の2段階に分け、  
不安や弱点を克服し、着実に合格を目指します。

9/4(水)  
1級建築士  
学科試験  
合格発表

10/13(日)  
1級建築士  
設計製図試験

設計製図本科コース

学科合格発表前の5週間

演習講義40時間

基本課題～応用課題による  
計画・作図力の養成

▶ 第1回～第3回

- テーマ建築物に特化した構造・設備計画の考え方、計画のポイントを学習します。
- ゾーニングと動線計画に的を絞ったエスキスの進め方を学習。
- 課題の読み取りとポイント、ゾーニングからプランニングまでの進め方を養成、試験に必要な作図表現をマスターします。
- 宿題課題では応用力(付加条件)の強化。

▶ 第4回(模擬試験)[数値化採点]

- 模擬試験では新試験に即した6時間30分で完成能力の確認、「減点チェックリスト」に基づいた数値化採点により、中間での実力診断をおこないます。

▶ 第5回

- プランニング力強化のため目標時間を設定し、エスキス完成実習の取組み、計画の要点等、記述の想定問題に対し、適切に解答できる能力を養成します。
- 前半課題を用いて中間総括まとめ講義により、考え方のポイント整理と確認。
- 前半講義の学習内容を、模擬結果から再チェック・確認。後半に向けた目標を面談指導します。

▶ 個人クリニック

- 設計製図後半に入る前に、講師による個人面談を行い、今後の学習目標を立てます。

▶ 実習講義 15時間

- 作図実習、記述実習、エスキス、図面完成のための弱点克服練習等

設計製図試験前の4週間

特訓講義38時間

応用課題を中心に  
時間内完成能力の強化

▶ 第1回・第2回

- 特訓課題を通して、応用力(課題の読み取り方、ゾーニング・プランニングの進め方)を養成します。作図表現をマスターすることで、時間内完成能力の強化。
- グループ学習を通して、プランの考え方、構造・設備の考え方などを相互に説明し、知識・能力の向上を図ります。
- 新試験対策エスキス模擬により、発表課題に即したプラン作成能力の強化。

▶ 第3回(特訓模擬試験)[数値化採点]

- 特訓模擬試験では「減点チェックリスト」に基づき数値化採点します。ランク付けによる全国レベルの実力診断と採点基準に適応した完成度の検証をおこないます。

▶ 第4回

- 特訓課題によるプラン作成能力の強化。
- これまでの課題を中心に、総括解説講義により、最終の整理・確認。

▶ グループクリニック

- 特訓課題の内容、間違いやすい点等、グループ面談指導を通して、再チェック・確認。
- 本試験に向けての弱点克服。

直前対策 当年度課題の再検証  
(設計製図試験直前)

▶ 第5回・第6回

- エスキスおよび要点記述の実習によりプラン・記述作成の総復習。

### ✓ 計画各論

- ① ZEBは、快適な室内環境を保ちながら、建築物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物をいう。
- ② 光井戸(light well)と呼ばれる吹抜けを設けることにより、住戸の奥行きが深い場合にも、通風と採光を得ることができる。
- ③ SI(スケルトン・インフィル)住宅の建築設備は、一般に、スケルトンとして長期の使用が可能な共用設備部分と、インフィルとして変更が可能な住戸専有設備部分とにより構成される。
- ④ 車いすや訪問介護者(ホームヘルパー)を活用し、自立した生活を維持できるように工夫された軽費老人ホームをケアハウスという。
- ⑤ 図書館におけるBDS(ブックディテクションシステム)は、電波や磁気を利用して貸出処理されていない資料の館外への持ち出しを感知するシステムである。
- ⑥ 博物館において、低室収蔵庫や高温収蔵庫を設ける場合には、それぞれに前室としてならし室を近接して計画する。
- ⑦ 病院における看護単位当たりの病床数は、一般に、内科・外科よりも小児科のほうが少ない。
- ⑧ 高層事務所ビルのエレベーターの計画において、各ゾーンのサービスフロア数を10フロアとし、その際の台数は、直線配置で4台、対面配置で8台を限度とする。
- ⑨ 非常用エレベーターの乗降ロビーの面積は、非常用エレベーター1台につき10㎡以上と定められている。
- ⑩ 劇場における舞台の下手とは、客席から見て舞台の左側のことである。
- ⑪ 車椅子使用者用便房に設置する手すりは、便器の側壁側にL型手すりを設けるとともに、他方には可動手すりを設け、それらの水平部はいずれも便座の座面から20～25cm程度の高さとする。
- ⑫ 車椅子使用者用客室内の浴室の出入口の有効幅員は、80cm以上とする。
- ⑬ 面内剛性の高いカーテンウォールの主要な取付け方には、地震時の建築物の揺れによる層間変位に追従させるため、ロック方式とスウェイ方式がある。
- ⑭ センターコアは、大きな床面積の場合に適しているが、二方向避難の計画が難しい。
- ⑮ アースチューブは、地中に埋設したチューブに空気を送り込み、夏期には冷熱源、冬期には温熱源として利用する方式であり、一般に、外気温度の年較差又は日較差が大きい地域ほど熱交換効果が大きい。
- ⑯ PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)は、国や地方公共団体の事業コストの削減や、より質の高い公共サービスの提供を目的として、公共施設等の建設、維持管理、運営等において、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法である。
- ⑰ LCC(ライフサイクルコスト)は、建築物や建築設備システムの企画、設計、建設から廃棄に至るまでに要する総費用で、一般に、建設費・保守管理運転費・撤去処分費の合計として求められる。
- ⑱ BIMは、設計、施工、維持管理までのコストや工期、品質情報等すべてを統合したデータを活用して業務を進める手法であり、一般に、三次元モデルを使って表現される。
- ⑲ パークアンドライドシステムは、一般に、郊外の鉄道駅等に設置された駐車場を利用し、都心部まで公共交通機関を利用することによって、中心市街地へ流入する車の交通量を抑制する仕組みである。
- ⑳ LRT(Light Rail Transit)とは、低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システムのことである。

本日7/28(日)20:30(予定)より解答速報YoutubeでLIVE配信! >>

無料の即日WEB採点サービスは試験後すぐに解答入力を!





## 環境工学

- ① 平均放射温度(MRT)は、**グローブ温度**、**空気温度**及び**気流速度**から求められる。
- ② 冷たい壁面による不快感を生じさせないためには、**放射の不均一性**(放射温度の差)を**10°C未満**にすることが望ましい。
- ③ 椅座安静状態における標準的な体格の成人の**発熱量**は、一般に、約**100W/人**である。
- ④ 住宅の**全般換気**を、トイレ、浴室、台所等の水まわり部分から排気する**第三種換気方式**で行う場合、居室に設ける自然給気口は、床面からの高さを**1.6m以上**とすることが望ましい。
- ⑤ 一室の上下に大きさの異なる開口のある建築物において、無風の条件で、内外に温度差がある場合、**中性帯**の位置は、開口部の**大きい**ほうへ近づく。
- ⑥ 壁体表面の**熱伝達率**は、近傍の**風速**が大きいほど**大きくなる**。
- ⑦ 冬期の壁体の**内部結露**を防止するには、内断熱より**外断熱**が有利である。
- ⑧ **永久日影**とは、建築物などにより直射日光が遮断されるため、一年を通じて全く太陽直射光の当たらない領域で、日本では、**夏至**の日に終日日影となる部分のことである。
- ⑨ 昼光により室内の**最低照度**を確保するための**設計用全天空照度**には、一般に、**暗い日の値**である**5,000lx**が用いられる。
- ⑩ **Low-Eガラス**を用いる複層ガラスは、低放射膜をコーティングした面が複層ガラスの中空層の**室内側**に位置するように設置することにより**断熱性能**を高めるものである。
- ⑪ 平均演色評価数(Ra)は、**相関色温度**が同じ光源であっても**異なる**場合がある。
- ⑫ **配光曲線**は、光源の各方向に対する**光度**の分布を示すものである。
- ⑬ **XYZ表色系**における三刺激値X、Y、Zのうち、**Y**は、反射物体の色の場合には、**視感反射率**を示す。
- ⑭ 室内に同じ音響出力をもつ二つの騒音源が同時に存在するとき、室内の**音圧レベル**は、騒音源が一つの場合に比べて約**3dB**増加する。
- ⑮ **多孔質材料**を剛壁に取り付ける場合、一般に、多孔質材料と剛壁面との間の空気層の厚さを増すと、**低周波数域**の吸音率が**大きくなる**。
- ⑯ 重量床衝撃源による**床衝撃音**については、**カーペット**等の柔らかい床仕上げ材を用いても、遮断性能の向上はほとんど期待できない。
- ⑰ 単層壁の遮音において、同一の材料の場合、壁の厚さが薄いほど、**コインシデンス効果**による遮音性能の低下は、より**高い周波数域**で発生する。
- ⑱ **露点温度**は、**絶対湿度**を一定に保ちながら空気を冷却した場合に、**相対湿度が100%**となる温度である。

## 建築設備

- ⑲ 遠心冷凍機の**冷水出口温度**を低く設定すると、**COPは低くなる**。
- ⑳ **ディスプレイメント・ベンチレーション**(置換換気)は、室内空気の積極的な混合を避けるため、設定温度よりもやや低温の空気を室下部から吹き出し、居住域で発生した**汚染質**を**室上部から排出**するものである。
- ㉑ **外気冷房**は、**外気のエンタルピー**が室内空気の**エンタルピー**よりも**低い**場合に、それらの**エネルギーの差**を冷房に利用するものである。
- ㉒ **省エネルギー性能**が高い冷凍機の選定に当たっては、**定格条件のCOP**とともに、年間で発生頻度が高い**部分負荷運転時のCOP**も考慮する。
- ㉓ 空気調和機の外気取入れに**全熱交換機**を使用することにより、冷凍機・ボイラーなどの熱源設備容量を小さくできる。
- ㉔ 給水設備において、上水系統と別系統にした**雑用水系統の受水槽**については、雑用水用ポンプを設置した給排水衛生設備機械室の直下にある鉄筋コンクリート造の**床下ピット**を利用した。
- ㉕ **ディスポーザ排水処理システム**は、ディスポーザ、専用の排水配管及び排水処理装置により構成されており、一般に、排水中の**BOD等を基準値以下**にして、**下水道に放流**するものである。
- ㉖ 電圧の種別において、交流の**600V**以下のものは、**低圧**に区分される。
- ㉗ 事務所ビルの**連結送水管の放水口**については、**3階以上の階ごと**に、その階の各部分から水平距離が**50m以下**となるように設置した。
- ㉘ 劇場の防災計画において、**階段を下りる速度**は、一般に、**0.6m/秒**で想定する。
- ㉙ **常用エレベーター**は、利用者の人命確保と閉込めの回避を最優先するために、一般に、**災害時における利用は想定されていない**。
- ㉚ 建築物の省エネルギー基準における**年間熱負荷係数(PAL\*:パルスター)**は、その値が小さいほど建築物の外皮の**熱性能が高い**と判断される。

## ✓ 建築基準法

- ① 土地に定着する観覧のための工作物は、**屋根を有しない**のものであっても、「**建築物**」に該当する。**法2条1号**
- ② 老人福祉施設は、**特殊建築物**である。**法2条2号**
- ③ 建築物に設ける消火用の**スプリンクラー設備**は、**建築設備**である。**法2条3号**
- ④ 建築物の主要構造部である**階段**について行う**過半**の修繕は、**大規模の修繕**である。**法2条14号**
- ⑤ 床が地盤面下にある階で、床面から地盤面までの高さがその階の**天井の高さの1/3以上**のものは、「**地階**」である。**令1条2号**
- ⑥ 地上**3階建て**の**共同住宅**における**2階**の床及びこれを支持するはりに鉄筋を配置する工事の工程は「**特定工程**」である。**法7条の3第1項**
- ⑦ 積雪荷重を支える建築物の**屋根板**は、「**構造耐力上主要な部分**」である。**令1条3号**
- ⑧ 天井面から**50cm**下方に突出した垂れ壁で、**不燃材料**で造られたものは、「**防煙壁**」に該当する。**令126条の2第1項**
- ⑨ **スポーツの練習場**の用途に供する建造物は、非常用の照明装置の設置に関する規定における「**学校等**」に含まれる。**令126条の2第1項2号**
- ⑩ 建築物の**地階**で地盤面上**1m以下**にある部分の外壁の中心線で囲まれた部分の水平投影面積は、当該建築物の**建築面積に算入しない**。**令2条1項2号**
- ⑪ 建築物の容積率の算定の基礎となる**延べ面積**には、原則として、**共同住宅の共用の廊下**又は**階段**の用に供する部分の床面積は**算入しない**。**法52条6項**
- ⑫ 建築物の**高さの算定**は、**地盤面**からの高さによらない場合がある。**令2条1項6号**
- ⑬ **前面道路**の境界線から後退した建築物の**各部分の高さの制限**の適用において、当該建築物の後退距離の算定の特例の適用を受ける場合、ポーチの高さの算定については、**前面道路の路面の中心からの高さ**による。**令2条1項6号**
- ⑭ 建築物の**地階**の倉庫、機械室その他これらに類する建築物の部分で、水平投影面積の合計が建築面積の**1/8以下**のものは、**階数に算入しない**。**令2条1項8号**
- ⑮ **防火地域及び準防火地域外**において、建築物を増築しようとする場合、その増築に係る部分の床面積の合計が**10m<sup>2</sup>以内**のものについては、**確認済証の交付**を受ける必要はない。**法6条2項**
- ⑯ 都市計画区域内における**高さ5mの広告板**の築造については、**確認済証の交付を受けなければならない**。**法88条**
- ⑰ 建築主は、鉄骨造、延べ面積200m<sup>2</sup>、平家建ての事務所を新築する場合においては、**検査済証の交付を受ける前であっても、建築物を使用することができる**。**法7条の6第1項**
- ⑱ 定期報告を要する建築物の所有者が**異なる場合**においては、**管理者**が特定行政庁にその定期報告をしなければならない。**法12条1項**
- ⑲ 床面積の合計が**10m<sup>2</sup>を超える**建築物の**除却**の工事を施工する者は、一定の場合を除き、建築主事を経由して、その旨を**都道府県知事**に届け出なければならない。**法15条**
- ⑳ **地方公共団体**は、**条例**で、特殊建築物の用途により、防火上必要な制限を**附加**することができる。**法40条**
- ㉑ 病院の居室のうち入院患者の**談話**のために使用されるものには、原則として、採光のための窓その他の**開口部**を設けなければならない。**令19条2項**
- ㉒ 一戸建住宅の**階段**は、けあげ**23cm以下**、踏面**15cm以上**としなければならない。**令23条1項**
- ㉓ 映画館における**客用の階段**でその高さが3mをこえるものにあつては、高さ**3m以内**ごとに踊場を設けなければならない。**令24条1項**
- ㉔ 住宅の**居室**で**地階**に設けるものは、所定の基準により**からぼり**に面する一定の開口部を設けた場合、壁及び床の防湿の措置等衛生のための換気設備は設けなくてもよい。**令22条の2**
- ㉕ **倉庫業を営む倉庫**における床の**積載荷重**は、実況に応じて計算した数値が1m<sup>2</sup>につき3,900N未満の場合においても、1m<sup>2</sup>につき**3,900N**としなければならない。**令85条3項**
- ㉖ 屋根の積雪荷重は、屋根に雪止めがある場合を除き、その勾配が**60度を超える場合**においては、**零**とすることができる。**令86条4項**

本日7/28(日)20:30(予定)より解答速報YoutubeでLIVE配信! >>



無料の即日WEB採点サービスは試験後すぐに解答入力を!

本文内表記について 太字…キーワード / 赤…チェックポイント

- 27 防火地域内においては、高さが3mの広告用の看板で、建築物の屋上に設けるものは、その主要な部分を不燃材料で造り、又は覆わなければならない。法64条
- 28 防火地域又は準防火地域内にある建築物で、外壁が耐火構造のものについては、その外壁を隣地境界線に接して設けることができる。法63条
- 29 地上15階建ての事務所の15階部分で、当該階の床面積の合計が300㎡のものは、原則として、床面積の合計100㎡以内ごとに防火区画しなければならない。令112条7項
- 30 共同住宅の各戸の界壁は準耐火構造とし、強化天井を除き小屋裏又は天井裏に達せしめなければならない。令114条1項
- 31 自動車修理工場は、その床面積にかかわらず、原則として、内装の制限を受ける。令128条の4第1項
- 32 主要構造部を耐火構造とした延べ面積200㎡の2階建の店舗兼用住宅の1階にある台所(火を使用する設備を設置)は、内装の制限の規定は適用されない。令128条の4第4項
- 33 劇場の客用に供する屋外への出口の戸は、劇場の規模にかかわらず、内開きとしてはならない。令125条2項
- 34 共同住宅で2階以上の階にあるバルコニーの周囲には、安全上必要な高さが1.1m以上の手すり壁、さく又は金網を設けなければならない。令126条1項
- 35 排煙設備を設置しなければならない居室に設ける排煙設備の排煙口には、煙探知機と連動する自動開放装置を設けたものについても、手動開放装置を設けなければならない。令126条の3第1項
- 36 病院の病室には、非常用の照明装置を設けなくてもよい。令126条の4
- 37 高さ31mを超える部分を昇降機の機械室の用途に供する建築物には、非常用の昇降機を設けなくてもよい。令129条の13の2
- 38 道路法による新設の事業計画のある幅員6mの道路で、2年以内にその事業が執行される予定のものとして特定行政庁が指定したものは、建築基準法上の道路である。法42条1項4号
- 39 地方公共団体は、特殊建築物の敷地が道路に接する部分の長さについて、条例で必要な制限を付加することができる。法43条3項
- 40 幅員6mの道路法による道路で地下におけるものは、建築基準法上の道路ではない。法42条1項
- 41 特定行政庁は、街区区内における建築物の位置を整えその環境の向上を図るために必要があると認めた場合には、建築審査会の同意を得て、壁面線を指定することができる。法46条1項
- 42 災害があった場合において建築する公益上必要な用途に供する応急仮設建築物の敷地は、道路に2m以上接しなくてもよい。法85条2項
- 43 建築協定書については、原則として、当該建築協定区域内の土地の所有者等の全員の合意がなければならない。法70条
- 44 市町村の長は、建築協定書の提出があった場合においては、遅滞なく、その旨を公告し、20日以上相当の期間を定めて、これを関係人の縦覧に供さなければならない。法71条
- 45 建築協定の認可等の公告のあった建築協定は、その公告のあった日以後において当該建築協定区域内の土地の所有者等になった者に対しても、原則として、その効力があるものとされている。法75条
- 46 認可を受けた建築協定を廃止しようとする場合には、建築協定区域内の土地の所有者等(当該建築協定の効力が及ばない者を除く。)の過半数の合意が必要である。法76条
- 47 建築協定は、建築協定を締結しようとする区域内のすべての土地を一人で所有している場合にも、定めることができる。法76条の3
- 48 給水管、配電管その他の管が、所定の防火壁を貫通する場合においては、これらの管の当該貫通する部分及び当該貫通する部分からそれぞれ両側に1m以内の距離にある部分を不燃材料で造るものとする。令129条の2の4第1項
- 49 建築物(換気設備を設けるべき調理室等を除く。)に設ける自然換気設備の給気口は、居室の天井の高さの1/2以下の高さの位置に設け、常時外気に開放された構造としなければならない。令129条の2の5第1項
- 50 高さ20mをこえる建築物であっても、周囲の状況によって安全上支障がない場合においては、避雷設備を設けなくてもよい。法33条

学科 I 計画

学科 II 環境・設備

学科 III 法規

学科 IV 構造

学科 V 施工



### ✓ 荷重・外力

- ① ガスト影響係数 $G_f$ は、「平坦で障害物がない区域」より「都市化が著しい区域」のほうが**大きい**。
- ② 風圧力は、一般に、「外装材に用いる場合」より「構造骨組に用いる場合」のほうが**小さい**。
- ③ 建築物の設計用一次固有周期 $T$ が長い場合、第一種地盤より**第三種地盤**のほうが、建築物の地上部分に作用する地震力は**大きくなる**。
- ④ 地震層せん断力係数の建築物の高さ方向の分布を表す係数 $A_j$ は、一般に、建築物の設計用一次固有周期 $T$ が長くなるほど、**大きくなる**。
- ⑤ 建築物の地上部分における各層の地震層せん断力 $Q_j$ は、最下層の値が**最も大きくなる**。

### ✓ 鉄筋コンクリート構造

- ⑥ 主筋のコンクリートに対する許容付着応力度は、下端筋より上端筋のほうが**小さい**。
- ⑦ **圧縮側**の主筋は、長期荷重による**クリープたわみ**を抑制する効果がある。
- ⑧ 柱の**せん断耐力**は、一般に、柱に作用する軸方向圧縮力が大きいほど**大きくなる**。
- ⑨ 水平力を受ける柱は、軸方向圧縮力が大きくなるほど、**変形能力が小さくなる**。
- ⑩ 柱部材は、同じ断面の場合、一般に、**内法高さが小さいほど、せん断耐力は大きくなり、靱性は低下する**。
- ⑪ 柱梁接合部の設計用せん断力は、取り付く梁が曲げ降伏する場合、曲げ降伏する梁の引張鉄筋量を増やすと**大きくなる**。
- ⑫ 耐力壁の壁筋の間隔を**小さく**すると、一般に、耐力壁のひび割れの進展を抑制できる。
- ⑬ 大梁主筋の柱への必要定着長さは、大梁主筋の強度が高いほど**長くなる**。
- ⑭ 折曲げ定着筋の標準フックの必要余長は、折曲げ角度が小さいほど**長くなる**。
- ⑮ 鉄筋コンクリート造の既存建築物の耐震改修において、柱への炭素繊維巻き付け補強は、柱の曲げ耐力を大きくする効果について**期待できない**。

### ✓ 鉄骨構造

- ⑯ 引張力を負担する筋かいを保有耐力接合とするためには、筋かい軸部の降伏耐力より、筋かい端部及び接合部の破断耐力を十分**大きく**する必要がある。
- ⑰ 高力ボルト摩擦接合部における最大引張耐力の算定において、**山形鋼を用いた筋かいを、材軸方向に配置された一列の高力ボルトによりガセットプレートに接合する場合、筋かい材の有効断面積は、一般に、高力ボルトの本数が多くなるほど大きくなる**。
- ⑱ 柱の限界細長比は、基準強度 $F$ が大きいほど**小さくなる**。
- ⑲ 圧縮材の許容圧縮応力度は、鋼材及び部材の座屈長さが同じ場合、座屈軸まわりの断面二次半径が小さいほど**小さくなる**。
- ⑳ **横移動が拘束されていない**ラーメン架構において、柱材の座屈長さは、梁の剛性を高めても節点間距離より**小さくすることはできない**。
- ㉑ H形鋼の梁の設計において、板要素の幅厚比を**小さく**すると、**局部座屈が生じにくくなる**。
- ㉒ 柱及び梁に使用する鋼材の幅厚比の**上限値**は、建築構造用圧延鋼材S $N$ 400Bより建築構造用圧延鋼材S $N$ 490Bのほうが**小さい**。
- ㉓ 骨組の**塑性変形能力を確保**するために定められているH形鋼の柱及び梁の幅厚比の**上限値**は、フランジより**ウェブのほうが大きい**。
- ㉔ H形断面梁の**変形能力の確保**において、梁の長さ、断面の形状・寸法が同じであれば、**等間隔に設置する横補剛の必要箇所数**は、S $N$ 400材の場合よりも**S $N$ 490材の場合のほうが多くなる**。
- ㉕ 高力ボルトの**最小縁端距離**は、一般に、「手動ガス切断縁の場合」より「自動ガス切断縁の場合」のほうが**小さい値**である。



本日7/28(日)20:30(予定)より解答速報YoutubeでLIVE配信! >>



無料の即日WEB採点サービスは試験後すぐに解答入力を!

本文内表記について 太字…キーワード / 赤…チェックポイント

- 26 溶接継目のど断面の長期応力に対する許容応力度は、異種鋼材の溶接の場合、接合される母材の許容応力度のうち、**小さい**ほうの値とする。
- 27 鉄骨造耐震計算ルート2で計算する場合、地階を除き水平力を負担する筋かいの水平力分担率に応じて、地震時の応力を**割増**して許容応力度計算を行う必要がある。
- 28 有効細長比λが小さい筋かい(λ=20程度)は、有効細長比λが中程度の筋かい(λ=80程度)に比べて変形性能が**高い**。
- 29 鉄骨造耐震計算ルート1-2において、厚さ6mm以上の冷間成形角形鋼管を用いた柱を設計する場合、地震時応力の割増係数は、建築構造用冷間ロール成形角形鋼管BCRより、**建築構造用冷間プレス成形角形鋼管BCP**のほうが**小さい**。
- 30 鉄骨造耐震計算ルート3において、**建築構造用冷間プレス成形角形鋼管BCP**の柱が**局部崩壊メカニズム**と判定された場合、柱の耐力を**低減**して算定した保有水平耐力が、必要保有水平耐力以上であることを確認する必要がある。

### ✓ 耐震設計・構造計画

- 31 構造特性係数Dsは、一般に、架構の減衰が**大きい**ほど小さくすることができる。
- 32 限界耐力計算において、**塑性化の程度が大きい**ほど、一般に、安全限界時の各部材の減衰特性を表す係数を**大きく**することができる。
- 33 純ラーメン構造の場合、地震時の柱の軸方向力の変動は、一般に、中柱より外柱のほうが**大きい**。
- 34 建築物の平面形状が細長く、耐力壁が短辺方向の両妻面のみに配置され、剛床と仮定できない場合、両妻面の耐力壁の負担せん断力は、剛床と仮定した場合より**小さくなる**。
- 35 連層耐力壁に接続する梁(境界梁)の曲げ耐力及びせん断耐力を大きくすると、一般に、地震力に対する耐力壁の負担せん断力は、**大きくなる**。

### ✓ 木材

- 36 木材の曲げ強度は、一般に、**気乾比重が大きい**ものほど**大きい**。
- 37 木材の繊維方向の基準強度は、一般に、引張強度より**圧縮強度**のほうが**大きい**。
- 38 含水率が繊維飽和点以下の木材の乾燥収縮率は、一般に、「年輪の半径方向」より「年輪の接線方向」のほうが**大きい**。
- 39 構造用材料の弾性係数は、一般に、気乾状態から含水率が繊維飽和点に達するまでは、含水率が大きくなるにしたがって**小さくなる**。
- 40 木表は、一般に、木裏に比べて乾燥収縮率が**大きい**ので、**木表側に凹に反る**性質がある。

### ✓ コンクリート

- 41 コンクリートのスランプは、コンクリートの単位水量が**小さい**ほど**小さくなる**。
- 42 水和熱によるコンクリートのひび割れは、単位セメント量が**少ない**コンクリートほど発生しにくい。
- 43 コンクリートのヤング係数は、コンクリートの**圧縮強度が高い**ほど**大きい**。
- 44 一軸圧縮を受けるコンクリート円柱試験体の**圧縮強度時ひずみ**は、**圧縮強度が大きい**ほど**大きくなる**。
- 45 コンクリートの中性化速度は、**水セメント比が小さい**ほど**小さくなる**。

### ✓ 鋼材

- 46 熱間圧延鋼材の強度は、圧延方向に比べて、**板厚方向**のほうが**小さい**傾向がある。
- 47 梁の**塑性変形性能**は、使用する鋼材の降伏比が**小さい**ほど、**向上**する。
- 48 構造用鋼材では、一般に、**炭素量が増加**すると、鋼材の**強度や硬度は増加**するが、**靱性や溶接性は低下**する。
- 49 シャルピー衝撃試験の**吸収エネルギーの大きい**鋼材を使用することは、**溶接部の脆性破壊を防ぐ**ために有利である。
- 50 建築構造用圧延鋼材S N490Bの**引張強さ**の下限値は、**490N/mm<sup>2</sup>**である。

### ✓ 施工管理

- ① 工事を共同連帯して請け負った場合、そのうちの一人を代表者として定めるための「**共同企業体代表者届**」を、**都道府県労働局長**あてに届け出る。
- ② 高さ**31m**を超える建築物の建設、改造、解体又は破壊の仕事については、当該工事の開始の日の**14日前**までに、「**建設工事計画届**」を**労働基準監督署長**に提出する。
- ③ 道路法による通行の制限を受ける車両を通行させるためには、「**特殊車両通行許可申請書**」を、**道路管理者**あてに提出する。
- ④ 床面積の合計が**10m<sup>2</sup>**を超える建築物を**建築**する場合は**建築主**が、また、**除却**しようとする場合は**施工する者**が、建築主事を経由して**都道府県知事**に届け出る。

### ✓ 仮設工事

- ⑤ 単管足場の建地の間隔は、けた行き**1.85m**以下、はり間**1.5m**以下とし、**壁つなぎ**の間隔は、垂直方向**5m**以下、水平方向**5.5m**以下とする。
- ⑥ 枠組足場は、**壁つなぎ**の間隔を垂直方向**9m**以下、水平方向**8m**以下とし、**水平材**を**最上層**及び**5層**以内ごとに設ける。
- ⑦ 建築物の高さと位置の基準となる**ベンチマーク**については、工事中に移動のおそれのない箇所に**2箇所以上**に設け、相互に**チェック**できるようにする。
- ⑧ 防護棚のはね出し材の**突き出し長さ**は、足場から水平距離で**2m以上**とし、また、水平面となす**角度は20度以上**とする。

### ✓ 地盤調査

- ⑨ 標準貫入試験において、貫入量が30cmに達しない場合の本打ちの打撃数は、特に必要のない限り**50回**を限度とし、そのときの**累計貫入量**を測定する。
- ⑩ 標準貫入試験による**N値**から**推定**できる土の性質は、**砂質土**の場合、**相対密度**、**内部摩擦角**などで、**粘性土**の場合、**硬軟**の程度である。

### ✓ 土工事・山留め工事

- ⑪ **砂質地盤**の床付け面を乱してしまった場合、**転圧**による締固めが有効である。
- ⑫ **地盤アンカー工法**は傾斜地などで片側土圧(**偏土圧**)となる場合の処理が容易である。
- ⑬ **ヒービング**とは、**粘性土地盤**において、山留め壁の背面地盤の**回り込み**により根切り底面が**盛り上がる**現象である。
- ⑭ **ボーリング**とは、**砂質地盤**において、砂中を上向きに流れる**水の圧力**のために、**砂粒子**が根切り場内に**沸き上がって**くる現象である。

### ✓ 基礎・地業工事

- ⑮ セメントミルク工法において、掘削後の**アースオーガー**の引き上げについては、掘削時と同様にアースオーガーを**正回転**させながら行う。
- ⑯ セメントミルク工法における**支持層の確認**については、アースオーガー駆動用電動機の**電流値の変化**及びオーガーの先端に付着した**排出土**と**土質標本**との**照合**により確認する。
- ⑰ 既製コンクリート杭を用いた打込み工法において、打込み完了後の杭頭の**水平方向の施工精度**の目安値については、杭径の**1/4**以下、かつ、**100mm**以下とする。
- ⑱ 場所打ちコンクリート杭において、コンクリート打込み中の**トレミー管**の先端については、一般に、コンクリートの中に**2m**以上入っているように保持する。
- ⑲ 場所打ちコンクリート杭の鉄筋かごの**帯筋の継手**は、片面**10d**以上の**フレア溶接**とする。
- ⑳ 場所打ちコンクリート杭において、**スライム**の二次処理には、**水中ポンプ方式**、**サクシオンポンプ方式**などがあり、**コンクリート打設直前**に行う。
- ㉑ 場所打ちコンクリート杭において、安定液に打込むコンクリートの**単位セメント量**は、**330kg/m<sup>3</sup>**以上とする。
- ㉒ 場所打ちコンクリート杭において、**杭頭の処理**については、コンクリートの打込みから**14日程度経過した後**、杭体を傷めないように平坦にはつり取る。

### ✓ 鉄筋コンクリート工事

- ㉓ JIS規格品である異形鉄筋のうち、**圧延マーク**による表示が「**突起の数1個(・)**」のものは、**SD345**である。

本日7/28(日)20:30(予定)より解答速報YoutubeでLIVE配信! >>



無料の即日WEB採点サービスは試験後すぐに解答入力を!

本文内表記について 太字…キーワード / 赤…チェックポイント

- 24 直線重ね継手の長さは、コンクリートの設計基準強度が24N/mm<sup>2</sup>の場合、鉄筋の種類がSD295で35d以上、SD345で40d以上とする。(d:鉄筋の呼び名の数値)
- 25 あばら筋、帯筋の加工寸法(外側寸法)の許容差は、特記のない場合、「計画供用期間の級」にかかわらず、±5mmである。
- 26 径が同じ異形鉄筋の相互のあきについては、「呼び名の数値の1.5倍」、「粗骨材の最大寸法の1.25倍」、「25mm」のうち、最も大きい数値以上とする。
- 27 ガス圧接継手において、圧接部の鉄筋中心軸の偏心量が鉄筋径の1/5を超える、または、圧接面のずれが鉄筋径の1/4を超えるときは、切り取って再圧接する。
- 28 ガス圧接継手において、圧接部の膨らみの直径が鉄筋径の1.4倍に満たない、または、膨らみの長さが鉄筋径の1.1倍に満たないときは、再加熱して修正する。
- 29 型枠の構造計算におけるコンクリートの施工時の水平荷重については、鉛直方向の荷重に対する割合で定めることとし、地震力については考慮しない。
- 30 パイプサポートを支柱に用いる場合、その高さが3.5mを超えるときは、高さ2m以内ごとに水平つなぎを二方向に設け、かつ、水平つなぎの変位を防止する。
- 31 コンクリートの材齢によるせき板の存置期間は、施工部位等の条件が同一であれば、高炉セメントB種を使用する場合より普通ポルトランドセメントを使用する場合のほうが短くすることができる。
- 32 基礎、はり側、柱及び壁のせき板の存置期間は、計画供用期間の級が標準の場合、コンクリートの圧縮強度が5N/mm<sup>2</sup>以上に達したことが確認されるまでとする。
- 33 コンクリート中に含まれる塩化物量は、鉄筋の防錆上有効な対策を講じない場合、塩化物イオン量として0.30kg/m<sup>3</sup>以下とする。
- 34 普通コンクリートの耐久性を確保するための調合における単位セメント量の最小値は、270kg/m<sup>3</sup>とする。
- 35 コンクリート棒形振動機による締固めは、打込み各層ごとに用い、その下層に振動機の先端が入るようにほぼ垂直に挿入し、挿入間隔は60cm以下としたうえで、加振はコンクリートの表面にセメントペーストが浮くまでとする。
- 36 はり及びスラブの鉛直打継ぎ部は、欠陥が生じやすいので、できるだけ設けないほうがよいが、やむを得ず鉛直打継ぎ部を設ける場合は、部材のスパンの中央または、端から1/4付近に設ける。
- 37 呼び強度27以上でスランプ21cmと指定した高性能A/E減水剤を用いたコンクリートの場合、スランプの許容差は±2cmとする。
- 38 普通コンクリートにおける構造体コンクリートの圧縮強度の検査で、1回の試験における供試体は、受入れ検査と併用しない場合、適当な間隔をあけた任意の3台の運搬車から1個ずつ、合計3個採取するものとする。
- 39 寒中コンクリートにおいて、荷卸し時のコンクリート温度は、原則として、10~20℃とする。
- 40 設計基準強度が60N/mm<sup>2</sup>の高強度コンクリートの場合、コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間については、外気温にかかわらず120分を限度とする。

## 鉄骨工事

- 41 高力ボルトの孔あけ加工は、ドリルあけとし、その他の孔あけ加工において板厚が13mm以下の時は、せん断孔あけとすることができる。
- 42 組立溶接のビード長さは、板厚6mm以下で30mm以上、板厚6mmを超える場合で40mm以上とし、ショートビードとならないようにする。
- 43 母材の溶接面に固着したミルスケールは、溶接に支障のないかぎり除去しなくてもよい。
- 44 溶接場所の気温が-5℃から5℃の場合、溶接線より100mmの範囲の母材部分を適切に加熱すれば溶接することができる。
- 45 鉄骨の建方に当たって、柱の溶接継手におけるエレクションピースに使用する仮ボルトについては、高力ボルトを使用して、全数締め付ける。
- 46 ウェブを高力ボルト接合、フランジを工事現場溶接接合とする場合は、一般に、高力ボルト接合を先に施工する。
- 47 高力ボルト接合において、接合部材間に1mmを超えるはだすぎが生じる場合は、フィラープレートを挿入してはだすきを埋める。
- 48 鉄骨の建方精度の管理において、柱の倒れの管理許容差は、特記がなければ、高さの1/1,000以下、かつ、10mm以下とする。
- 49 トルシア形高力ボルトの締付け後の検査で、ナット回転量が一群の平均回転角度±30°の範囲のものを合格とし、許容範囲を超えて、過大または過小と判定されたボルトは、新しいボルトと取り替える。
- 50 高力ボルト接合において、締付け後のボルトの余長は、ナット面から突き出た長さが、ねじ1山~6山の範囲にあるものを合格とする。



希望者全員

プレゼント!

1級建築士試験対策のために必ず手に入れたい!

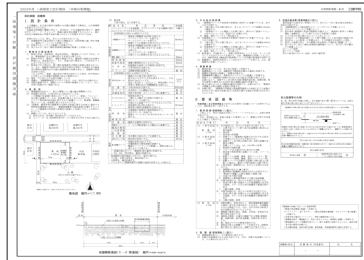
2024年 設計製図 早期対策課題 & 参考答案例

課題 & 参考答案例のお申込みはこちらから



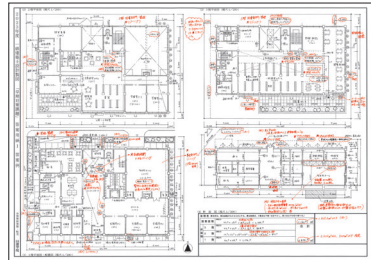
日建学院の完全オリジナル!

早期対策課題



※画像は過年度版です。

参考答案例



※画像は過年度版です。

2024年 学科試験 解答解説集

日建学院の完全オリジナル!

解答解説集



※画像は過年度版です。

解答解説集のお申込みはこちらから



日建学院 本校教室一覧

北海道・東北地区

- 札幌 011-251-6010
苫小牧 011-251-6010
旭川 0166-22-0201
青森 017-774-5001
弘前 0172-29-2561
八戸 0178-70-7500
盛岡 019-659-3900
水沢 0197-22-4551
仙台 022-267-5001
秋田 018-801-7070
山形 023-622-5100
酒田 0234-26-3351
郡山 024-941-1111

北陸地区

- 新潟 025-245-5001
長岡 0258-25-8001
上越 025-525-4885
富山 076-433-2002
金沢 076-280-6001
KIT前教室 076-293-0821
福井 0776-21-5001

関東地区

- 水戸 029-305-5433
つくば 029-863-5015
宇都宮 028-637-5001
小山 0285-31-4331
群馬 027-330-2611

- 太田 0276-58-2570
大宮 048-648-5555
川口 048-499-5001
川越 049-243-3611
所沢 04-2991-3759
朝霞台 048-470-5501
南越谷 048-986-2700
熊谷 048-525-1806
千葉 043-244-0121
船橋 047-422-7501
成田 0476-22-8011
木更津 0438-80-7766
柏 04-7165-1929
新松戸 047-348-6111
浦安 047-397-6780
池袋 03-3971-1101
新宿 03-6894-5800
上野 03-5818-0731
新橋 03-6858-4650
吉祥寺 0422-28-5001
立川 042-527-3291
八王子 042-628-7101
北千住 03-6850-0120
町田 042-728-6411
武蔵小杉 044-733-2323
横浜 045-440-1250
厚木 046-224-5001
藤沢 0466-29-6470
山梨 055-263-5100
長野 026-244-4333
松本 0263-41-0044

東海地区

- 静岡 054-654-5091
浜松 053-546-1077
沼津 055-954-3100
富士 0545-66-0951
名古屋 052-856-0631
北愛知 0568-75-2789
岡崎 0564-28-3811
豊橋 0532-57-5113
岐阜 058-216-5300
四日市 059-349-0005
津 059-291-6030

近畿地区

- 京都 075-221-5911
福知山 0773-23-9121
滋賀 077-561-4351
梅田 06-6377-1055
なんば 06-4708-0445
枚方 072-843-1250
堺 072-228-6728
岸和田 072-436-1510
橿原 0744-28-5600
奈良 0742-34-8771
神戸 078-230-8331
姫路 079-281-5001
和歌山 073-473-5551
田辺 0739-22-6665

中国地区

- 岡山 086-223-8860
倉敷 086-435-0150
福山 084-926-0570
広島 082-223-2751
岩国 0827-22-3740
山口 083-972-5001
徳山 0834-31-4339
松江 0852-27-3618
鳥取 0857-27-1987
米子 0859-33-7519

四国地区

- 松山 089-924-6777
西条 0897-55-6770
高松 087-869-4661
高知 088-821-6165
徳島 088-622-5110

九州地区

- 北九州 093-512-7100
天神 092-762-3170
博多 092-233-1156
久留米 0942-33-9164
大牟田教室 0944-32-8915
佐賀 0952-31-5001
長崎 095-820-5100
佐世保 0956-88-2060
大分 097-546-0521
中津 0979-25-0002
熊本 096-241-8880
宮崎 0985-50-0034
延岡 0982-34-7183
都城 0986-88-4001
鹿児島 099-808-2500
沖縄 098-861-6006
うるま 098-916-7430
名護 0980-50-9115

※2024年04月01日現在

日建学院 認定校

日建学院 認定校

日建学院 公認スクール

日建学院 公認スクール

受講者の生活スタイルは様々です。できることならば通学時間は短いほうがいい。そんな思いで「日建学院認定校」と「日建学院公認スクール」を全国に開校しています。
「日建学院認定校」では建築士と土木施工管理技士を中心に運営、「日建学院公認スクール」でも多くの講座を運営しています。提供される講座は、本校と同じカリキュラム、同じ教材でクオリティの高い授業が提供されます。日建学院ホームページの全国学校案内からあなたの近くの日建学院をお探しください。



ストレート合格  
への  
一歩はここから!

2024年7月/8月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
22	23	24	25	26	27	本日 28
説明会 29	30	31	1	2	3	受験準備 4
5	6	7	8	9	10	コース開講 11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

参加費無料!

7/29<sup>月</sup>

2024年度 / 1級建築士設計製図

合格対策説明会

合格するために、何が必要で何から始めるか、設計製図試験合格のポイント等、試験に向けた学習について課題から考えられるプランニングの留意点や作図上の注意点を説明します。

参加者全員

プレゼント!

- 2024年 設計製図 早期対策課題&参考答案例
- 練習用紙

左のページで詳細をCheck!



参加費無料!

8/4<sup>日</sup>

2024年度 / 1級建築士設計製図

受験準備講義

設計製図試験の概要を理解し、課題から想定される建築物の規模や全体の構成について具体的な学習に取り組みます。また、平面図の作図手順をわかりやすく解説。製図のスピードアップ法を習得することができます。

図面に不慣れな方でも安心して学習に取り組めるよう、日建学院では万全のサポート体制をご用意しています。





2024年度 / 1 級建築士設計製図

# 設計製図本科コース

徹底した添削指導で「合格答案」を作成するスキルが習得できます。

2024年度の設計課題の条件に即した建物を想定し、その機能と計画実例を徹底研究。課題の読み取り方やエスキス、作図法などを徹底的に講義します。答案づくりのコツを押さえることで、効率よく時間内に合格答案を作成するスキルを身につけることができます。

### 受講形態

#### 通学型学習

※本コースは公認スクールでは取り扱っておりません。

### 学習期間

2024年8月上旬～10月上旬(約2ヶ月間)

※各校によって日程や通学日が異なりますので、詳細は日建学院各校までお問い合わせください。

### 受講料

500,000円(税込550,000円)

実績に裏付けされた日建学院のノウハウが合格へと導きます。

合格へ導く

7つの  
必勝POINT

POINT

1

#### 日建式合格プラン

オリジナル教材が充実。プランニングから答案完成まで徹底した合格指導を行います。

POINT

2

#### 2ステップチェック方式

課題提出状況と内容を常に確認し、プランニングと完成図の各段階でチェックを行う2ステップチェック方式を実施。課題の読解力アップが見込めます。

POINT

3

#### 徹底課題分析

過去・当年の本試験課題を詳細に分析。あらゆる諸条件を想定し、厳選した問題を用意することで、プランニングから一式図まで完成させるスキルを伸ばします。

POINT

4

#### オリジナル教材

試験を熟知した経験豊富な一流講師陣が作り上げたオリジナル教材は合格のためのポイントが詰まっています。

POINT

5

#### 少人数制個別指導

ポイントを中心に減点の少ない合格図面の完成を目指すため、講義は少人数制の個別指導を取り入れています。

POINT

6

#### SSS(受講生専用映像講義配信システム)

教室で受講した映像講義がSSSで視聴できます。これにより、自宅学習の効率アップが見込めます。

POINT

7

#### 教室開放サポート

講義時間外でも常時教室を開放しているため、納得するまで自習が可能です。

※一部、例外校あり。

## オリジナルテキスト

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣による完全オリジナル。試験の出題内容を徹底分析しているのはもちろん、見やすさや使いやすさにも配慮して制作を行なっています。特に重要事項を分かりやすく解説していますので、くり返し復習することでさらに理解度を高めることができます。



### ここがポイント!

答案例だけでは、どこがポイントで何に注意すれば良いのかが理解しづらいことも。そこで、**答案例に朱書きで講師からのチェックポイントを掲載**。作図の際に気を付けるべきポイントが**すぐわかるので、チェック観点**が自然に身につく、**試験当日の見直し**にも役立つと好評です。



#### 基礎テキスト

製図試験の基礎知識・図面表現・作図手順を分かりやすく解説した教材です。イラストや立体図も掲載しているので、建物の構造を視覚的に無理なく理解できます。



#### 基礎テキスト記述編

記述の基礎知識、作成技術及び書き方などを詳しく解説したテキスト。受験者答案の添削例なども掲載。



#### 受験テキスト

課題のポイント・注意点及び基本知識から出題課題の特徴など、課題に即した傾向と対策を網羅した決定版テキスト。



## カリキュラム

演習講義40時間(5回)・特訓講義38時間(6回)の2段階に分け、合格を勝ち取るための実力を着実に身につけていきます。

日曜  
コース

平日  
コース

回数	日曜コース	平日コース	内容
	8/ 4(日)	8/ 7(水)	【映像講義】エスキスの進め方/3時間以内の完成図法 問題文の読み取りから作図 ■早期対策課題
1	8/11(日)	8/14(水)	【映像講義】オリエンテーション/発表課題の検討(建築計画・各部計画のポイント)/ エスキスの進め方/ゾーンプランニング講義 実習(エスキスから作図) ■演習課題1A
2	8/18(日)	8/21(水)	【映像講義】ゾーンプランニング講義 実習(エスキスから作図・記述完成) ■演習課題2A
実習講義	8/19(月)	8/21(水)	作図・記述完成 ■演習課題2A
3	8/25(日)	8/28(水)	【映像講義】ゾーンプランニング講義 実習(エスキスから作図完成) ■演習課題3A
実習講義	8/26(月)	8/28(水)	作図・記述完成 ■演習課題3A
4	9/ 1(日)	9/ 4(水)	模擬試験 ■演習課題4A 【映像講義】エスキスの進め方 総評まとめ・全国採点
実習講義	9/ 2(月)	9/ 4(水)	再度、模擬答案完成 ■演習課題4A
5	9/ 8(日)	9/11(水)	実習(エスキス・記述完成) ■演習課題5 【映像講義】中間総括まとめ講義 中間クリニック(演習模擬等返却指導)
実習講義	9/ 9(月)	9/11(水)	図面完成のための弱点克服練習
1	9/15(日)	9/18(水)	【映像講義】ゾーンプランニング講義 実習(エスキスから作図・記述完成) ■特訓課題1A
実習講義	9/17(火)	9/18(水)	図面完成のための弱点克服練習
2	9/22(日)	9/25(水)	【映像講義】ゾーンプランニング講義 模擬形式実習(エスキスから作図完成) ■特訓課題2A/課題講評
3	9/29(日)	10/ 2(水)	模擬試験 ■特訓模擬試験 【映像講義】エスキスの進め方 課題講評
4	10/ 6(日)	10/ 9(水)	実習(エスキス完成) ■特訓課題3 【映像講義】総括解説 まとめ講義/試験上の注意/グループクリニック(特訓模擬試験返却指導)
5	10/ 8(火)	10/ 8(火)	【映像講義】合格必勝直前対策講義1 実習(エスキス・記述完成) ■直前対策課題1
6	10/10(木)	10/10(木)	【映像講義】合格必勝直前対策講義2 実習(エスキス・記述完成) ■直前対策課題2

【受験準備】

基本課題/応用課題による計画力・作図力の養成

【演習講義40時間】

【特訓講義38時間】

※日程、カリキュラム等は変更する場合がありますのでご了承ください。  
また、各校により日程は異なります。詳細は各校でご確認ください。

1級建築士 設計製図 本科コース  
受講料 / **500,000円** (税込550,000円)

【お申込はコチラ】



**9/28<sup>±</sup>**  
開催!

※実施日は各校によって異なる場合があります。

2024年度 / 1級建築士設計製図  
全国統一公開模擬試験

効果

- ▶ 数値化採点により今の実力が判る
- ▶ 本試験対策も個別にアドバイス!

受講料 / **10,000円** (税込11,000円)

【お申込はコチラ】





試験終了後**すぐに解答入力**を!

スマホで  
できる!

無料 即日WEB採点サービス



簡単な  
3ステップで  
完了

STEP 1

問題用紙を持ち帰ります。

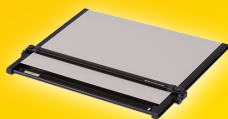
STEP 2

QRコードにアクセスし  
解答を入力してください。

STEP 3

採点結果を即日メール  
でお知らせします。

※問題用紙は試験終了時刻まで在席した方のうち希望者に限り、持ち帰ることができます。  
※当資料の試験会場での廃棄はご遠慮願います。ご自宅までお持ちください。



採点サービスご利用の方の中から抽選で10名様に  
平行定規(武藤工業社製 LINERBOARD)をプレゼント!!

本試験会場での使用や自宅での学習用など、メインの製図版としてもサブ的な製図版としても大活躍間違いありません!

※当選者の発表は、  
Web採点サービスに  
お申込みいただいた  
際の、最寄りの日建  
学院各校よりご連絡  
させていただきます。

1級建築士学科試験

解答速報

YouTube  
にてLIVE配信!

本日7月28日(日) 20:30 スタート(予定)



合格ラインの方は**合格対策説明会**へ!

7/29(月)から全国の日建学院で開催!



参加者  
全員

プレゼント!

☑ 2024年 設計製図試験 課題&参考答案例

☑ 練習用紙

お問い合わせ

日建学院コールセンター

0120-243-229